北海道七飯養護学校おしま学園分校 学校だより第４号（通巻 229 号）　令和５年 12 月 25 日発行

はぐくみ

本物の人や物と出会う感動

北海道七飯養護学校おしま学園分校校長　北　嶋　公　博

文部科学省では、ICT を用いることが当たり前となっている子どもたちに対し、情報活用能力を身に付け、情報社会に対応していく力を備えていけるよう、ICT の一層の活用を推進しています。特にコロナ禍においては、子どもたちは、極力直接の関わりを避けることが当たり前の数年を過ごしてきました。

今年度、本校の重点教育目標の一つに「体験活動の再構築」を掲げていますが、知的障がいのある子どもたちにとって、タブレットの画面を通した学びだけでなく、実際に地域の大人と関わり、本物に触れる体験活動は、これからも大切にしていくべき学びの機会であることを、外部の方々に協力いただいた行事での子どもたちの様子を見ながら改めて実感しています。

10 月 11 日は、ジブラルタ生命が特別協賛した事業で、特別支援学校向けの「出前授業」に当選し、上肢や下肢の切断障がいを持った人向けの「アンプティサッカー教室」として活動している選手やコーチの方々が、大分県や愛媛県などからわざわざ来校いただき指導を受けました。子どもたちは、松葉杖を巧みに使いながら、力強いシュートを放つ現役選手の迫力あるプレーに見入ったり、大人と一緒に新聞紙を丸めて作ったボールをゴールに入れ、大人たちにハイタッチしてもらったりしながら、あっという間の楽しい時間を過ごしていました。

11 月 21 日は、渡島総合振興局産業振興部水産課や渡島管内漁業士会の御協力による、食育の授業を行いました。体育館では、「ミニ水槽で泳ぐふぐや平目、サメの赤ちゃん、たこなどを直接触れる体験」や「ホッキ貝の解体体験」、「漁具を使ったウニ獲り体験」などが行われるとともに、調理室では、「鮭の解体見学」で漁業士の方が大きな鮭を解体していく様子を目の前で見ることができ、捌いた鮭を触ることもできました。

子どもが水槽のたこを持ち上げようとしたとき、そばにいた漁業士の方は、空いているバケツを近くに置き、持ち上げたらそのバケツに入れるよう教えてくれました。たこと格闘しながら持ち上げることができた子どもは、続けて他の魚も手に取り、バケツへと運んでいました。なかなか触れることのない、生きている魚たちに触れることができたり、自分ができるようになったことで、大人が喜び、褒めてくれたりする体験は、タブレットの画面では全く敵わない、本物だけが持つ迫力に満ちていました。ちょっとずつできるようになったことや、大人にたくさん褒めてもらえた喜びを感じた子どもたちは、満足した表情で教室に戻っていきました。

こうした体験活動は、今後もできるだけ取り入れ、子どもたちが本物の人や物に触れる機会を充実させていくことで、子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。

学習の様子

「小学部の様子」

小学部の２つの学習活動をお伝えします。

【ハロウィンを楽しもう】10 月 18 日に小学部では「みんなとたのしくハロウィンパーティーをしよう」ということで、ゲームと校内を回ってお菓子をもらう活動をしました。ゲームでは、カボチャリレーとハロウィンふくわらいをしました。その後、図工で作ったおばけの衣装を身に付けて校内を歩いてお菓子をもらいました。「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらうことができました。

【絵本読み聞かせ会】11 月 24 日に北斗市読み聞かせサークル「えほんの会えくぼ」さんが小学部に来てくれました。小学部はどの児童も絵本が大好きで、朝の会や帰りの会で読んでおり、この日を楽しみにしていました。大型絵本やエプロンシアター、パネルシアターをみんなで鑑賞したり、終わりにはサークルの皆さんとイカ踊りを踊ったり、楽しい時間を過ごすことができました。

（文責：学部主事　辻）

「中学部の様子」

11 月 11 日（土）急遽４人で行うことになってしまいましたが、元気なオープニングダンスから学習発表会が始まりました。その場で選んだ技を発表する体育発表では、小学部のときはできなかった技ができるようになった成長した姿を披露することができました。総合的な学習の時間の発表では、身近な施設を見学して質問した回答や分かったことなど、プレゼンテーションのアプリケーションソフトでまとめ、役割を分担して発表することができました。音楽発表では、手話による分校の歌や、初めて取り組んだリコーダーと鉄琴とキーボードの合奏など、繰り返し練習してできるようになった姿を見ていただきました。最後の「ふるさと」の合唱まで、休んだ２人の分も互いに補い合って発表する生徒達に、温かい御声援や多くの拍手をいただいたこと、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

12 月 14 日（木）石別中学校にバスで移動して交流及び共同学習を行いました。石別中学校の生徒に教えてもらいながらクリスマスツリーのオーナメントを一緒に作り、ボッチャなどのゲームをしながら交流を深め、とても楽しい時間を過ごすことができました。

２学期もいろいろと御支援いただきありがとうございました。３学期も皆様の御協力をいただきながら生徒が自分の良さを伸ばしていけるような学習を進めていきたいと考えております。

（文責：学部主事　髙橋）

「高等部の様子」

１２月１５日（金）、延期になっていた製品販売会を行いました。平日の開催となりましたが保護者の方や寮の職員の方に来校いただき、高等部生徒が活動する様子を見ていただいたり、一生懸命に作った製品を購入していただいたりすることができました。また、中学部の生徒も購入に来て、高等部生徒の活動の様子を見てもらうことができました。

職員ではない大人の方から言葉をかけていただいたり、関わっていただいたりすることは、生徒にとっては大きな励みや自信になります。延期になってもあきらめずに販売会に取り組んだことで貴重な経験を得ることができました。

製品販売会の御案内から実施日までの期間があまりない状況だったにもかかわらず、御参加いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。　　　　　　　　　（文責：学部主事　郡川）

「冬バテ」を予防しよう

長いように感じた２学期も、あっという間に終わりを迎えようとしています。振り返ると、２学期は下校時間を早めるなどの対策がとられた異常な暑さのなかスタートしました。今年の夏は夏バテに苦しんだ方も多かったのではないでしょうか。あの暑さも懐かしいくらい季節はすっかり冬になりましたが、実は冬にも〝冬バテ″があるのを御存じですか？

冬は、日中は比較的暖かくても、夜になると急に冷え込んだり、暖房の効いた屋内と屋外の温度差が大きくなったりします。寒暖差が大きくなると、体のさまざまな機能を調節する自律神経の働きが乱れて、疲れを感じやすくなります。これを〝冬バテ″と呼ぶことがあります。冬バテの症状には、倦怠感、肩こり、不眠、めまい、頭痛、消化器異常（便秘や下痢）、情緒の落ち込みなどがあります。

冬バテを予防するには、身体を冷やさない（特に首、手首、足首）、適度な運動、バランスの良い食事など、基本的なことがありますが、さらに効果的な予防法を紹介します。それは「耳のストレッチ」です。方法は①耳の上をつまみ上に引っぱる②耳たぶをつまみ下に引っぱる③耳の横をつまみ横に引っぱる④耳を軽く横に引っ張りながら後ろへ５回ゆっくり回す⑤耳の上下を折り曲げるようにしてくっつけ５秒間保つ⑥手のひらで耳全体を覆い後ろ方向に円を描くようにゆっくり回す、これらを５秒ずつ行います。耳には自律神経に作用するツボがいくつかあり、ストレッチによりこれらのツボが刺激され自律神経の働きを整えることができますので、冬バテを感じている方はぜひ実践して、心も身体もすっきりさせて新年を迎えましょう。

（文責：養護教諭　坂本）

進路から　～障害者総合支援法の改正について～

様々な障害福祉サービスの土台となっている「障害者総合支援法」が 2022 年に改正され、来年４月に施行されます。ちなみに通称「障害者総合支援法」と呼んでいるこの法律ですが、正式名称はとても長く「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」と言います。

今回の障害者総合支援法改正の主なポイントとしては以下の３点です。

１　障害者等の地域生活の支援体制の充実
⇒グループホームの支援内容として、一人暮らし希望者への支援、グループホーム退去後の相談等の支援についても含まれることが明確化されます。

２　障害者の多様な就労ニーズに対する支援及び障害者雇用の質の向上の推進
⇒本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たなサービス「就労選択支援」が創設されます。

３　障害福祉サービス等に関する規定の整備
⇒障害者・障害児等のデータベースの活用に関して、第三者提供の仕組等の規定を整備し、障害福祉サービス等の質の向上が図られます。

※参考・引用文献　厚生労働省「障害者総合支援法等の改正について」

改正の詳細については、厚生労働省から出されている資料の他、障害福祉サービス関連のいろいろなサイト等に分かりやすく紹介されていますので、ぜひ御確認ください。

最後に改正とは別の話題になりますが、高等部卒業後の障害福祉サービス利用については、高等部３年のちょうど今の時期に保護者が申請することになっています。今年度も函館市は 11 月から、北斗市は１月から申請受付となっており、他の自治体についても同時期です。この申請を基に入所や生活介護、グループホームを希望する場合は、在学中に障害支援区分が認定される動きになっています。近郊の入所施設やグループホームについては、満床の状態が続き、申請の時期になっても内諾を得られないことが多いのが実情ですが、移行に向けての準備の一つとなります。　（文責：キャリア支援部　太田）

１～２月の行事予定

※今後、行事が変更になることがあります。その場合は早めにお知らせします。

月	日（曜日）	行事	月	日（曜日）	行事
１月	18 日（木）	３学期始業式	２月	１日（木）	二計測（中・高）
	22 日（月）	雪上活動開始（～2/22）			学寮懇談会（～2/16）
	24 日（水）	木曜日課（高等部入学者選考検査準備のため）		２日（金）	二計測予備日
	25 日（木）	水曜日課（高等部入学者選考検査準備のため）		５日（月）	高等部一日作業（～９日）
	26 日（金）	高等部入学者選考検査 ※小・中学部：11：30 下校 高等部：臨時休業		９日（金）	ブリックラボ（小・中） ※ブロックで遊ぶ活動
				26 日（月）	保護者懇談・授業参観（～3/1）
	31 日（水）	二計測（小）		27 日（火）	入学説明会（高）
				28 日（水）	PTA 役員会・PTA 茶話会
				29 日（木）	入学説明会（中）

～お知らせ～
12 月 29 日（金）、１月１日（月）、２日（火）、３日（水）は学校閉庁日です。この期間、学校の教職員は不在となり、学校への御電話や御来訪には対応できません。
緊急時は、〈726657-kinkyu@ml.hokkaido-c.ed.jp〉まで御連絡いただきますようお願いします。